

七九五番

家いへに行ゆきて いかにか我あがせむ 枕まくらづく つま
屋やさぶしく 思おもほゆべしも

七九六番

はしきよし かくのみからに 慕したひ来こし 妹いもが心こころ
の すべもすべなさ

七九七番

悔くやしかも かく知しらませば あをによし 国内くぬちこ
とごと 見みせましものを

七九八番

妹いもが見みし 棟あふちの花はなは 散ちりぬべし 我わが泣なく涙なみだ
いまだ干ひなくに

七九九番

大野山おほのやま 霧立きりたち渡わたる 我わが嘆なげく おきその風かぜに
霧立きりたち渡わたる